江差三大祭り

江差かもめ島まつり

七月第一土・日

北前船競漕大会、千人パレード、歌謡ショー、大しめ縄かざりなどの行事が目白押し

江差・姥神大神宮渡御祭

八月九～十一日

三七〇有余年の歴史と伝統を誇る華麗にしてエネルギッシュな道内最古の祭り

江差追分全国大会
江差追分熟年全国大会
江差追分少年全国大会

九月第三金・土・日

全国から選び抜かれた追分の唄い手が集結し、自慢のノドを競う

その他にも通年イベント盛りだくさん！

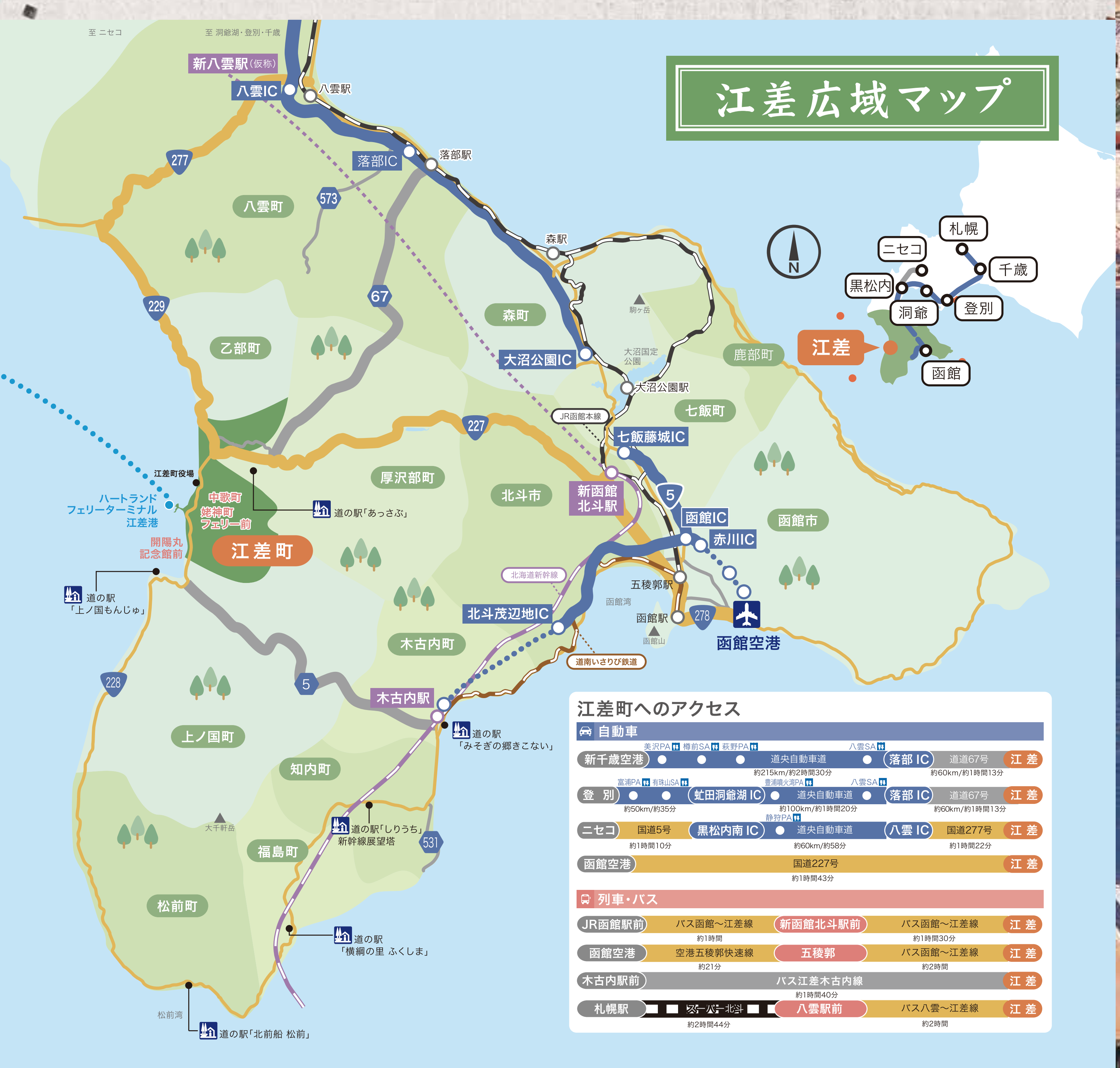
◎春のいにしえ夢開道
［5月上旬］
いにしえ街道を舞台に花嫁行列等のイベントが行われ気分はタイムトリップ！？

◎江差町産業祭り
［9月下旬］
地場産の新鮮な農産物、特産品の展示・即売

◎江差たば風の祭典
［2月1日～28日］
追分セミナー、ひな語りなど内容盛りだくさん！

◎冬江差"美味百彩"なべまつり
［2月第1土・日曜日］
冬の味覚はやっぱり「お鍋」！約30種類以上の道南の「鍋」が大集合！

江差広域マップ


至 ニセコ
至 洞爺湖・登別・千歳
新八雲駅（仮称）
八雲IC
八雲駅
277
落部IC
落部駅
573
八雲町
森駅
森町
駒ヶ岳
67
229
乙部町
大沼公園IC
大沼国定公園
大沼公園駅
鹿部町
七飯町
JR函館本線
227
七飯藤城IC
厚沢部町
北斗市
新函館北斗駅
5
函館IC
赤川IC
函館市
江差町役場
ハートランドフェリーターミナル 江差港
中歌町
姥神町フェリー前
開陽丸記念館前
江差町
道の駅「あっさぶ」
道の駅「上ノ国もんじゅ」
北海道新幹線
函館湾
五稜郭駅
函館駅
函館山
278
函館空港
北斗茂辺地IC
道南いさりび鉄道
木古内町
木古内駅
道の駅「みそぎの郷きこない」
228
上ノ国町
知内町
大千軒岳
道の駅「しりうち」新幹線展望塔
531
福島町
道の駅「横綱の里 ふくしま」
松前町
松前湾
道の駅「北前船 松前」
N
札幌
ニセコ
千歳
黒松内
洞爺
登別
江差
函館

江差町へのアクセス

自動車

新千歳空港 → 道央自動車道（美沢PA・樽前SA・萩野PA・八雲SA）約215km/約2時間30分 → 落部IC → 道道67号 約60km/約1時間13分 → 江差

登別 → （富浦PA・有珠山SA）約50km/約35分 → 虻田洞爺湖IC → 道央自動車道（豊浦噴火湾PA・八雲SA）約100km/約1時間20分 → 落部IC → 道道67号 約60km/約1時間13分 → 江差

ニセコ → 国道5号 約1時間10分 → 黒松内南IC → 道央自動車道（静狩PA）約60km/約58分 → 八雲IC → 国道277号 約1時間22分 → 江差

函館空港 → 国道227号 約1時間43分 → 江差

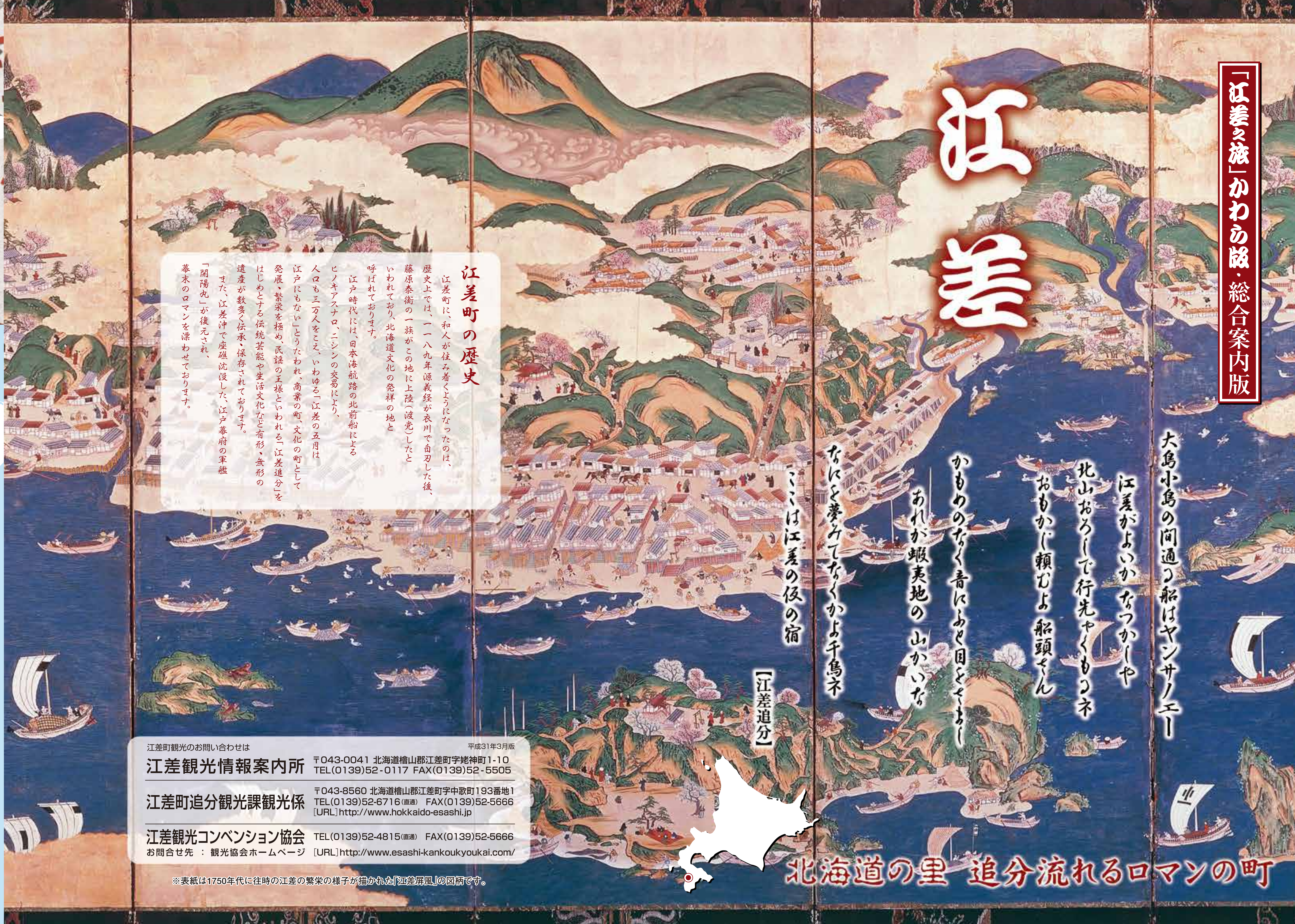
列車・バス

JR函館駅前 → バス函館～江差線 約1時間 → 新函館北斗駅前 → バス函館～江差線 約1時間30分 → 江差

函館空港 → 空港五稜郭快速線 約21分 → 五稜郭 → バス函館～江差線 約2時間 → 江差

木古内駅前 → バス江差木古内線 約1時間40分 → 江差

札幌駅 → スーパー北斗 約2時間44分 → 八雲駅前 → バス八雲～江差線 約2時間 → 江差



江差町の歴史

江差町に、和人が住み着くようになったのは、歴史上では、一一八九年源義経が衣川で自刃した後、藤原泰衡の一族がこの地に上陸（渡党）したといわれており、北海道文化の発祥の地と呼ばれております。

江戸時代には、日本海航路の北前船によるヒノキアスナロ、ニシンの交易により、人口も三万人をこえ、いわゆる「江差の五月は江戸にもない」とうたわれ、商業の町、文化の町として発展・繁栄を極め、民謡の王様といわれる「江差追分」をはじめとする伝統芸能や生活文化など有形・無形の遺産が数多く伝承・保存されております。

また、江差沖で座礁沈没した、江戸幕府の軍艦「開陽丸」が復元され、幕末のロマンを漂わせております。

江差町観光のお問い合わせは　平成31年3月版

江差観光情報案内所
〒043-0041 北海道檜山郡江差町字姥神町1-10
TEL(0139)52-0117 FAX(0139)52-5505

江差町追分観光課観光係
〒043-8560 北海道檜山郡江差町字中歌町193番地1
TEL(0139)52-6716（直通） FAX(0139)52-5666
[URL] http://www.hokkaido-esashi.jp

江差観光コンベンション協会
TEL(0139)52-4815（直通） FAX(0139)52-5666
お問合せ先 ： 観光協会ホームページ
[URL] http://www.esashi-kankoukyoukai.com/

※表紙は1750年代に往時の江差の繁栄の様子が描かれた「江差屏風」の図柄です。

「江差之旅」かわら版・総合案内版

江差

大島小島の間通る船はヤンサノエー
江差がよいか なつかしや
北山おろしで行先ゃくもるネ
おもかじ頼むよ 船頭さん
あれが蝦夷地の 山かいな
かもめのなく音にふと目をさまし
なにを夢みてなくかよ千鳥ネ
ここは江差の仮の宿

【江差追分】

北海道の里 追分流れるロマンの町

江差の歴史を体感できる

江差追分会館・江差山車（やま）会館

江差人の血が騒ぐ北海道最古の祭り

姥神大神宮渡御祭は、今をさかのぼることおよそ三七〇年。毎年の豊漁によりニシン景気にわく江差の人々が、その年の終漁後、神様に感謝を込めて行ったのがこの夏の大祭の起源です。

江差の町は毎年八月九日～十一日の間お祭り一色に染まります。猿田彦命に先導された行列に、豪華な十三台の山車（ヤマ）が供奉し、祇園囃子の流れをくむ調べにのって町内を練り歩く様は圧巻で、北海道最古の絢爛豪華な夏祭りはいにしえの栄華を偲ばせます。

館内では、二台の山車を展示しており、一五〇インチの大型スクリーンでは祭りの賑わいの様子を見ることができます。

北辺に息づく人間賛歌 江差追分の全てがここにある。

追分節は、江戸時代の頃から信州中仙道で唄われていた馬子唄が一種のはやり唄として全国各地に広まり、越後に伝わったものが舟唄となって船頭たちに唄われるようになり、やがて今から二〇〇年程前に北前船によって江差に運ばれてきたといわれています。

さらに江差では、座頭佐之市がケンリョウ節と追分を加えて独特の音調を持つ江差追分を誕生させたといわれ、多くの唄い手によって磨かれ、唄いつがれてきたのです。

情緒豊かな江差追分の調べは、民謡を愛する人々の心を魅了します。日本を代表する民謡の王様と言われ、民謡は江差追分に始まって江差追分に終わるともいわれています。

- ●入館料／大人500円、小・中・高生250円（15名以上の団体は1割引）●開館時間／9時～17時
- ●実演／4月上旬頃～10月末11時・13時・15時（江差追分大会開催日除く） ●休館日／4月～10月末無休、11月～3月末は月曜・祝祭日の翌日、12/31～1/5
- ●お問い合わせ／江差町字中歌町193-3 ☎(0139)52-0920

町指定有形文化財

旧関川家別荘

江差の発展に代々尽くした松前藩一の豪商。

今から約三〇〇年前から明治三十年代まで、江差で廻船問屋を営んでいた関川家には、江差最盛期のころの様子を伝える貴重な古文書や調度品が大量に保存されています。建物は、昭和六十一年度で全て修復が完了し、保存されていた古文書、調度品も建物と同時に昭和六十二年度から公開しています。

- ●入館料／大人100円、小・中・高生50円（15人以上の団体は1割引）
- ●開館時間／9時～17時
- ●休館日／4月～10月末無休、11月～3月末は全日休館
- ●お問い合わせ／江差町字豊川町55 ☎(0139)52-4220

国指定重要文化財

旧中村家住宅

ニシン漁全盛時代を今に伝える廻船問屋。

中歌町に残されている旧中村家は、江戸時代から日本海沿岸の漁家を相手に海産物の仲買商を営んでいた近江商人の大橋宇兵衛が建てたものです。

家屋は、当時江差と北陸を往復していた北前船で運んできた越前石を積み上げた土台に、ヒノキアスナロ（ヒバ）の切妻造りの大きな二階建て、さらに母屋から浜側まで文庫倉、下の倉、ハネ出しまで続く通り庭様式で、当時の問屋建築の代表的な造りとなっています。

- ●入館料／大人300円、小・中・高生100円（15人以上の団体は1割引）
- ●開館時間／9時～17時
- ●休館日／4月1日～10月末までは無休。11月1日～3月31日は毎週月曜日（祝日の時は翌日）、12/31～1/5
- ●お問い合わせ／江差町字中歌町22 ☎(0139)52-1617

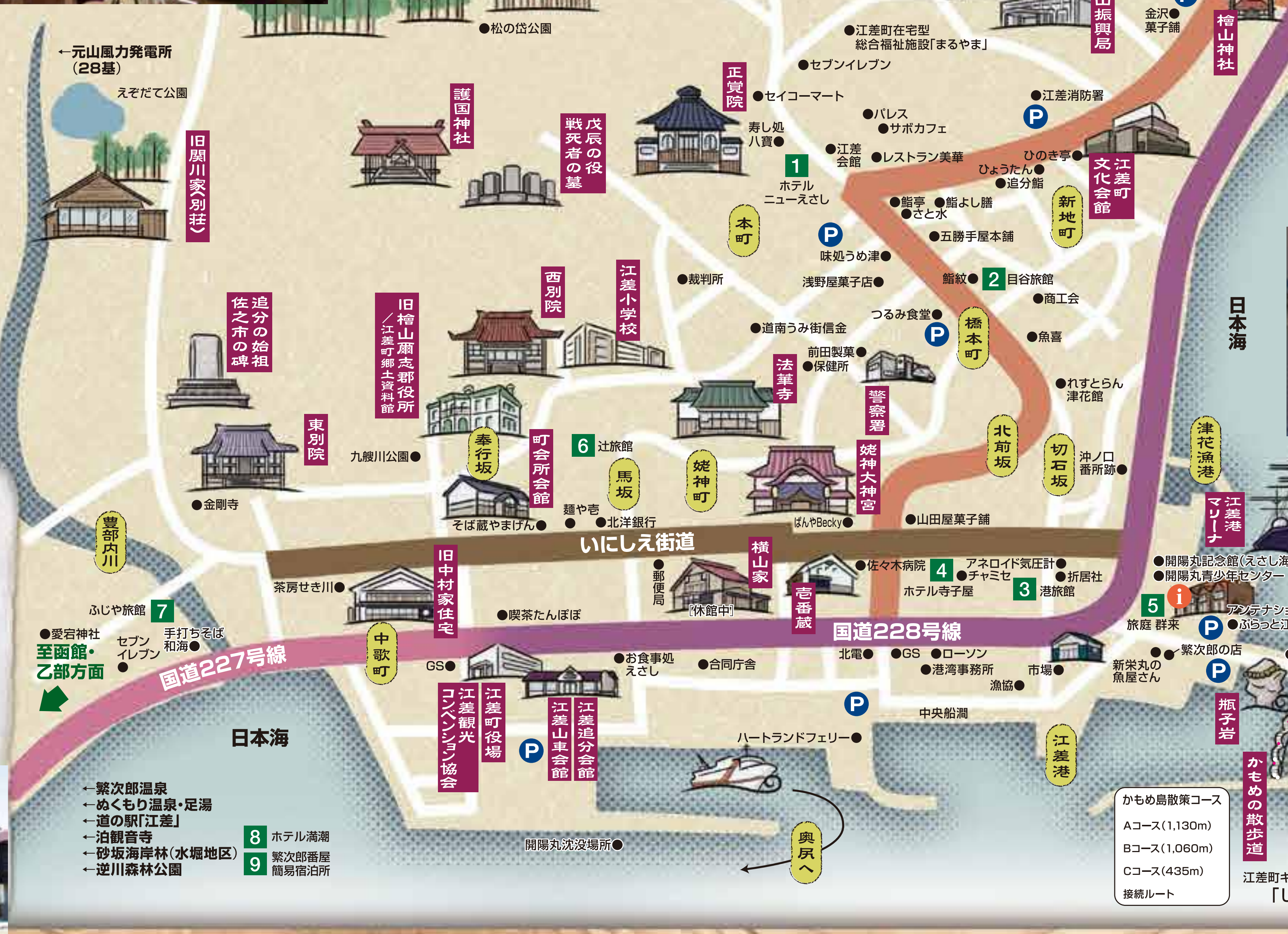
- ●入館料／大人300円、小・中・高生100円（15人以上の団体は1割引）
- ●開館時間／9時～17時
- ●休館日／4月～10月末無休。11月～3月末は毎週月曜・祝祭日の翌日。12/31～1/5
- ●お問い合わせ／江差町字中歌町22 ☎(0139)52-1617

宿泊施設のご案内

※掲載の日時や価格は平成29年4月1日現在のものです。

	施設名	☎	料金
1	ホテル ニューえさし	(0139) 52-3311	[素泊・シングル]5,639円（税別）[朝食]1,000円（税別） 【団体の夕食・宴会承ります】
2	目谷旅館	(0139) 52-0072	7,500円～（1泊2食付・税込）
3	港旅館	(0139) 52-0308	6,500円～（1泊2食付・税込）
4	ホテル寺子屋	(0139) 52-0855	[素泊]6,000円～（税別）
5	旅庭 群来（くき）	(0139) 52-2020	48,000円～（1泊2食付・消費税・入湯税別）
6	辻旅館	(0139) 52-0062	6,500円～（1泊2食付・税込）
7	ふじや旅館	(0139) 52-0115	5,500円～（1泊2食付・税別）
8	ホテル満潮	(0139) 53-6136	[洋室]7,500円～ [和室]7,000円～（共に1泊2食付・税別）
9	繁次郎番屋簡易宿泊所	(0139) 52-1177	[2名まで]6,300円（1名追加毎に2,100円追加・税込）

ESASHI MAP


ESASHI MAP
八大龍王神本宮
江差町運動公園
●檜山人材開発センター
●柏森神社
函館バス江差ターミナル
JR江差線線路跡
●馬場山町民の森
温泉みどりヶ丘の湯っこ●
江差中学校
JR江差駅跡●
金沢菓子舗
檜山振興局
檜山神社
南が丘小学校
五勝手漁港
至上ノ国・松前方面
●松の岱公園
←元山風力発電所（28基）
えぞだて公園
●江差町在宅型総合福祉施設「まるやま」
●セブンイレブン
正覚院
●セイコーマート
護国神社
戊辰の役戦死者の墓
旧関川家（別荘）
寿し処八寶●
●パレス
●サボカフェ
●江差会館
●レストラン美華
1 ホテルニューえさし
●江差消防署
ひのき亭●
ひょうたん●
●追分館
江差町文化会館
●鮨亭
●鮨よし膳
●さと水
●五勝手屋本舗
新地町
本町
味処うめ津●
●裁判所
浅野屋菓子店●
鮨紋●
2 目谷旅館
●商工会
つるみ食堂●
橋本町
●魚喜
●道南うみ街信金
前田製菓●
●保健所
日本海
西別院
江差小学校
法華寺
警察署
追分の始祖 佐之市の碑
旧檜山爾志郡役所／江差町郷土資料館
●れすとらん津花館
北前坂
切石坂
沖ノ口番所跡●
津花漁港
東別院
九艘川公園●
奉行坂
町会所会館
6 辻旅館
馬坂
姥神町
姥神大神宮
●金剛寺
そば蔵やまげん●
麺や壱
●北洋銀行
ぱんやBecky●
●山田屋菓子舗
豊部内川
いにしえ街道
横山家
江差港マリーナ
馬岩●
かもめ島
●開陽丸記念館（えさし海の駅）
●開陽丸青少年センター
茶房せき川●
旧中村家住宅
郵便局
［休館中］
壱番蔵
●佐々木病院
4 ホテル寺子屋
アネロイド気圧計●
●チャミセ
3 港旅館
●折居社
5 旅庭 群来
アンテナショップ
●ぷらっと江差
えびす浜
●海水浴場
ふじや旅館 7
●喫茶たんぽぽ
国道228号線
●愛宕神社
至函館・乙部方面
セブンイレブン
手打ちそば和海●
国道227号線
中歌町
GS●
●お食事処えさし
●合同庁舎
北電●
●GS
●ローソン
●港湾事務所
市場●
漁協●
新栄丸の魚屋さん
繁次郎の店
●追分記念碑
夕日の見える●展望灯台
●初代浜田喜一像
●小路豊太郎碑
瓶子岩
江差観光コンベンション協会
江差町役場
江差山車会館
江差追分会館
日本海
ハートランドフェリー●
中央船澗
江差港
厳島神社
●砲台跡
キャンプ場
かもめの散歩道
←繁次郎温泉
←ぬくもり温泉・足湯
←道の駅「江差」
←泊観音寺
←砂坂海岸林（水堀地区）
←逆川森林公園
8 ホテル満潮
9 繁次郎番屋簡易宿泊所
開陽丸沈没場所●
奥尻へ
かもめ島散策コース
Aコース（1,130m）
Bコース（1,060m）
Cコース（435m）
接続ルート
江差町キャラクター「しげっち」
見どころ満載！いっぱい楽しんでね！

こだわりコース

江差追分コース

- かもめ島めぐり　所要時間 30分　料金 無料
- ↓
- 江差追分会館　所要時間 60分　料金 有料
- ↓
- 江差追分の始祖・佐之市の碑　所要時間 5分　料金 無料

幕末・開陽丸コース

- かもめ島めぐり　所要時間 25分　料金 無料
- ↓
- 幕末の軍艦 開陽丸記念館（えさし海の駅）　所要時間 40分　料金 有料
- ↓
- 護国神社　所要時間 10分　料金 無料

鰊（にしん）・北前船コース

- かもめ島めぐり　所要時間 25分　料金 無料
- ↓
- 折居社跡　所要時間 3分　料金 無料
- ↓
- 姥神大神宮　所要時間 10分　料金 無料
- ↓
- 横山家 ※外観見学　所要時間 5分　料金 無料
- ↓
- 江差山車会館　所要時間 30分　料金 有料
- ↓
- 旧中村家住宅　所要時間 25分　料金 有料
- ↓
- 旧関川家別荘　所要時間 20分　料金 有料

時間コース

1時間30分コース

- 江差追分会館／山車会館　45分
- ↓ 徒歩8分・車3分
- 幕末の軍艦 開陽丸（えさし海の駅）　40分

2時間コース

- 旧中村家住宅　25分
- ↓ 徒歩3分・車1分
- 江差追分会館／山車会館　55分
- ↓ 徒歩5分・車3分
- 旧檜山爾志郡役所　30分

3時間コース

- 幕末の軍艦 開陽丸記念館（えさし海の駅）　45分
- ↓ 徒歩10分・車3分
- 江差追分会館／山車会館　55分
- ↓ 徒歩3分・車2分
- 旧中村家住宅　25分
- ↓ 徒歩2分・車1分
- 旧檜山爾志郡役所　20分
- ↓ 徒歩5分・車3分
- 旧関川家別荘　15分

神社参拝コース

神社参拝コース

- 愛宕神社　所要時間 20分　料金 無料
- ↓
- 護国神社　所要時間 20分　料金 無料
- ↓
- 姥神大神宮　所要時間 30分　料金 無料
- ↓
- 八大龍王神本宮　所要時間 20分　料金 無料
- ↓
- 檜山神社　所要時間 10分　料金 無料
- ↓
- 柏森神社　所要時間 10分　料金 無料

幕末の軍艦

開陽丸記念館（えさし海の駅）

- ●入館料／大人500円、小・中・高生250円（15人以上の団体は1割引）
- ●開館時間／9時～17時
- ●休館日／4月～10月無休、11月～3月は毎週月曜日（祝日の時は翌日）、12/31～1/5
- ●お問い合わせ／江差町字姥神町1-10☎(0139)52-5522
- ●URL／http://www.kaiyou-maru.com

今、よみがえった幕末のロマン。その歴史のすべてを再現。

幕末にオランダで建造された幕府軍艦。戊辰戦争中に榎本武揚らを乗せ活躍したが、暴風雪のために明治元年（一八六八）江差沖で座礁、沈没しました。同施設はオランダに残っていた設計原図をもとに復元されたもの。

内部には海底に沈んでいた開陽丸から引き揚げられた遺物の約三、〇〇〇点が展示されている。大砲など、当時の最新式の武器や和洋折衷の生活用品などもありとても興味深い。大砲の発射音や帆船の操作、砲弾の重量などを体験できるコーナーのほか、江差観光情報案内所もあります。

道指定有形民俗文化財

横山家

現在、休館中です。
外観はご覧になれます。

京の香りを残す旧家。代々受け継がれた鰊御殿。

横山家は初代から現在まで二五〇年以上の歴史があります。初代から現在地において漁業、商業、廻船問屋を営んでいました。現在の建物は今から約二〇〇年前に建てられた家屋で、昭和三十八年、北海道文化財に指定されました。

母屋と四番蔵にはニシン漁全盛期のころに使用されていた生活用具などが陳列され、当時の暮らし振りを今に伝える貴重な建物の一つです。

歴史の香り漂う街並み

江差いにしえ街道

明治初期まで北前船によるニシン漁とその取引と檜材交易で栄えた町「江差」。

その隆盛を極めた建造物（問屋蔵・商家・町屋・社寺）が海岸線沿いの下町に多く、そのまま残されていました。

江差町では、この歴史的建造物を後世に伝え、かつ多くの人に見ていただこうと、平成元年から「歴史を生かすまちづくり事業」としてスタートし平成十六年十一月に街路事業が完了。

「いにしえ街道」として情緒あふれる個性的な街並みとして大きく変化しました。

道指定有形民俗文化財

旧檜山爾志郡役所／江差町郷土資料館

郷土「江差」のすべてがわかる。

江差の自然・考古・歴史・民俗について展示した常設展と、年に数回の企画展を開催し、郷土に関する体験活動をすることができます。

建物は、明治二〇年に建てられ、北海道の有形文化財にも指定されている「旧檜山爾志郡役所」です。

壁や天井には、華麗な布クロスが復元されています。

- ●入館料／大人300円、小・中・高生100円（15人以上の団体は1割引）
- ●開館時間／9時～17時
- ●休館日／4月～10月末無休。11月～3月末は月曜・祝祭日の翌日、12/31～1/5
- ●お問い合わせ／江差町字中歌町112☎(0139)54-2188

江差民話の主人公

繁次郎

今も愛される江差の頓知名人。

「江差の五月は江戸にもない」と言われたほど、活気と華やかさに満ちていた江戸時代に実在したと言われる繁次郎。

大変とんちに長けていて、町中に笑いを振りまいていたとか。

江差町のシンボル

瓶子岩

かもめ島の名勝

今から五〇〇年もの昔、天変地異を予言する老婆がおりました。ある時、姥はひとりの翁から瓶を渡され、教えのとおり瓶を海に投げたところ、江差にニシンが群来るようになり江差の人の飢えを救ったという。

八方睨みの龍が迎える

法華寺

- ●入館料／大人300円、小・中学生150円（30人以上の団体は1割引）
- ●開館時間／9時～17時 ●休館日／不定休
- ●お問い合わせ／江差町字本町71 法華寺 ☎(0139)52-0355

時の流れを見据える天井の龍。荘厳さを今に伝える。

法華寺は大永元年（一五二一年）に上ノ国・勝山に創立され、寛文五年（一六六五年）に江差に移転し享保元年（一七一六年）に復建され今日にいたる。室町時代の建築物の荘厳さを今に伝えています。

山門は三〇〇年以上前に檜山奉行所の正門として建てられたもので、これも北海道最古の建築物の一つ。本堂の七メートル四方の天井に描かれた「八方睨みの龍」は、日本文人画の第一人者、池大雅の作と伝えられています。

共通入館券

旧中村家住宅　旧檜山爾志郡役所　旧関川家別荘

大人 500円　小中高 150円

※各施設（3館）開館日のみ使用可能

無料入館できる方

- ●満70歳以上の方
- ●各種の障害者手帳をお持ちの方

旧中村家住宅
旧檜山爾志郡役所
旧関川家別荘 のみ